

林業基盤検討会の活動報告 (異種の道ネットワークづくり)

1. 下呂市パイロット調査の検討状況

- 岐阜県下呂市において、昨年度の高山市に引き続き、国交省「新たな PPP/PFI」先導的官民連携事業としてパイロット調査を実施している。検討概要は、別紙「森林・林業と連携した道路ネットワーク化事業(事業箇所:下呂市 下呂-小坂線ほか)」のとおり。

※林業基盤検討会(7/18)にて議論

2. その他の活動状況

2.1.「第8回ナショナル・レジリエンス懇談会(9/10)」での政策提言

- 講演「防災・命の道をめざす異種の道ネットワーク」(米田雅子 委員長)
同行:門脇常務、五島、竹本
- 国土強靱化基本法、並びに南海トラフ南海トラフ地震対策特別措置法に関して、災害避難路、救助路として、「異種の道ネットワークづくり」を政策提言。
- 特に林地における異種の道(公民道)の整備・共用による防災及び林業への活用
 - ・南海トラフ巨大地震や土砂災害における地域防災計画への適用
 - ・路網整備の促進による林業推進、及び森林再生
 - ・デジタル国土の整備、GIS利活用の推進
- 提言および討議内容は、書籍に収録。
12/10「出版記念会」(自民党主催)に米田委員長招待。竹本同行。

国土強靱化
日本を強くしなやかに
第3弾

二階俊博
阿部勝征
山田啓二
宮脇 昭
奥田 貢
安藤立美
村尾公一
西川一誠
濱田政則
井上 弘
三木明博
鈴木茂晴
田中康夫
上田清司
清水信義
伊藤隼夫
河田恵昭
米田雅子
飯塚 敦
石原研而
小林道康
(講演順)

ISBN978-4-7824-1305-0
C3031 ¥2000E
定価(本体2,000円+税)

緊急出版 第3弾
これが答えだ!
—20人の知の巨人がほえる—
発行 国土強靱化総合研究所 発売 相模書房

「日本を、取り戻す。」 内閣総理大臣 自由民主党総裁 安倍晋三
第1部 国土強靱化宣言その3 自由民主党国土強靱化 二階俊博
第2部 防災・減災に資する国土強靱化は日本国民の生命を救う 政治評論家 聯合編集委員会
第3部 国土強靱化は「思考停止」との「戦い」である 京都大学大学院 松野孝典
第4部 講演録「国土強靱化について」 自由民主党国土強靱化 二階俊博
第5部 インフラ保全士のすすめ 国土強靱化総合研究所 門脇常務
第6部 国土強靱化に関する政府の取組み 内閣官房国土強靱化 米田雅子
第7部 出版に寄せて(その2)出版記念会 あいさつと基調講演 米田雅子
第8部 資料編 防災・減災等に資する国土強靱化基本法案な

2.2.三重県における検討状況

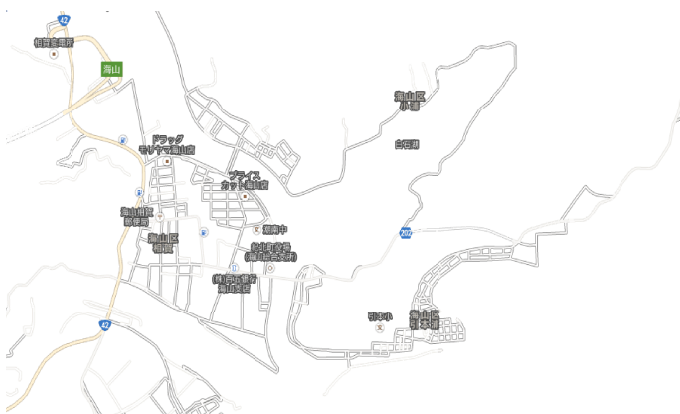
- 県(鈴木知事、危機管理室、農林部)、紀北町に政策提言。紀北町で具体的なルートを設定。今後、県と調整の上、実施方策を検討予定。
- 米田委員長、速水林業社長、竹本

2.3.高知県における検討状況

- 県(土木部、危機管理部(南海地震対策課))、室戸市防災対策室、東洋町に政策提言。
- 避難路、避難施設、緊急輸送道路の確保、橋梁の耐津波補強等が必要。今後、WG を設置して検討予定。
- 米田委員長、竹本

2.4.和歌山県における検討状況

- 講演「防災・命の道をめざす異種の道ネットワーク」(米田雅子 委員長)。
- 県(土木部、危機管理部(南海地震対策課)他)、市町村、民間企業から約100名参加。
- 串本市、田辺市などの津波予想地域の視察。
- 米田委員長、和田先生、竹本



三重県紀北町



和歌山県串本市



高知県室戸市

3. 今後の予定

- 南海トラフ巨大地震や集中豪雨・豪雪等、自然災害への備えとして、引き続き、政策提言を行うとともに、自治体での検討支援を行う。

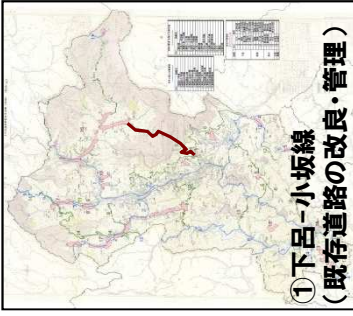
以上

【事業主体】下呂市

森林・林業と連携した道路ネットワーク化事業(事業箇所:下呂市 下呂-小坂線ほか)

施設概要

防災・減災のため、中山間地域の冗長性のある道路ネットワークの整備が求められている。一方、多面的な機能を発揮する森林再生を促進するためにも、道路ネットワークの拡充が不可欠である。本事業は、道路ネットワーク化事業と森林整備事業とを連携して行うことで、森林整備事業の高収益化を図りつつ、低コストで持続可能な道路ネットワークの実現を目指す事業である。



【対象箇所①】
延長19.25km(市道・林道)の改良と管理。

過去の災害時に避難路として活用できなかった道路の機能向上と効率的な管理により、ネットワークの強化をはかる。

①下呂-小坂線
(既存道路の改良・管理)



【対象箇所②】
林道同土をつなぐ接続道路の整備と、周辺地域の道路の管理。

森林経営計画で示されている森林作業道等の整備に合わせ、効率的なネットワーク整備・管理を行う。

②小坂町門坂地区周辺
(道路の新設・管理)

検討経緯等

- 平成24年5月 (社)日本プロジェクト産業協議会の森林再生事業化委員会が、「異種の道をつなぐネットワークづくり」と題し、既存の異種の道(国道、市道、林道、民間道など)をつなぐことにより最小コストでネットワークの構築が可能と提言。
- 平成24年6月 関係自治体、機関により、飛騨地区における「ひだ異種の道ネットワーク研究会」を発足。
- 平成24年12月 高山市(ひだ異種の道ネットワーク研究会参加)が本事業の実現に関連する「技術的・制度的課題」、「事業効果の評価手法」、「官民連携による事業スキーム」について検討業務を実施。
- 平成25年(本年度の予定) 平成24年度の検討で適用可能性が示された「森林・林業と連携した道路ネットワーク化事業」について、詳細な実現可能性の調査を実施。

新たな官民連携事業として検討すべき内容

道路ネットワーク化事業と森林整備事業を同じ民間事業者が実施すること(下図参照)を想定し、この事業の実現可能性を判断するため必要な検討を行う。

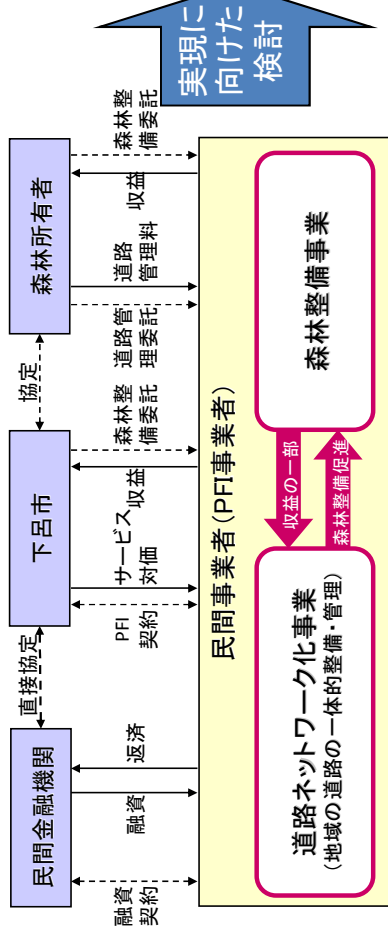


図 想定する事業スキームのイメージ

実現に向けて検討すべき内容

- 官民連携による事業の具体化
 - ・事業範囲・事業内容の具体化
 - ・事業スキームの検討
 - ・リスク分担の検討
- 事業採算性の検討
 - ・道路ネットワーク化事業の概算事業費試算
 - ・森林整備事業の事業性評価
 - ・VFMの試算
- 法的制約条件の把握・課題整理
 - ・法的制約条件の整理
 - ・課題への対処策検討
- 民間事業者等の意向調査
 - ・民間事業者のニーズ調査
 - ・森林所有者のニーズ調査
 - ・民間事業者の参入意向調査

検討により期待される成果

- ・中山間地域における道路ネットワーク化事業の効率性の確認(森林・林業との連携による相乗効果により、道路ネットワーク整備・管理事業のみを実施するより大きなVFMが期待可能)。
- ・中山間地域における森林整備事業の促進、活性化への効果の確認。
- ・道路ネットワークが脆弱な山間地域において、本検討結果を活用した事業展開への期待。